

蒸し暑い夏は、 気分爽快で安心なSZ α で。



SZ- α
HOG

SZ- α
FAZ

蒸し暑い夏となると、開放感溢れるオープンフェイスが恋しくなるものです。でも安全性という面においては、フルフェイスに比べ不安が残るのも事実です。まず第一に、フルフェイスならばアゴまでガードされていること、これは形状の差ですから致し方ないことです。そして第二の点として、あまり知られていない事かもしれませんが、フルフェイスは、帽体で覆われている全ての面に緩衝体が張り巡らされているのに対し、オープンフェイスでは、通常規格で定められている保護範囲を中心とした、頭部周辺のみで緩衝体が組み合わされ、ヘルメット下部のイヤークップ周辺では、帽体とクッション材だけになってしまう事です。



SZ α は、強靱なCLC帽体と、一般的なスネル規格品のヘルメットよりも25%以上柔らかい緩衝体を組み合わせ、頭部周辺の衝撃吸収性能においても、アストロFSやラバイドEなどのフルフェイスと同等に仕上げられています。また、オープンフェイスでは、帽体とクッション材のみで覆われていたイヤークップ部にまで緩衝体を組み込み、衝撃吸収性能においては、弱点であった帽体下部においても、フルフェイスと同等の安全性を保持しているのです。



このように、オープンフェイスでイヤークップ部にまで緩衝体を組み込んでいるのは、世界広しと言えどもSZ α くらいのもので、



SZ- α TT

SZ- α ブライトシルバー

また、安全性への追求は緩衝体のみにとどまらず、帽体下側にもエッジを設け、ヘルメット下部の剛性を向上させています。



SZ α というどうしてもスタイル、全て着脱可能な内装、シールドシステムなどの機能面に目が行きがちなのですが、アライの基本は安全性の追求です。SZ α も規格だけに頼るのではなくヘルメット全体の安全性を、少しでも前進させていきたいというアライの願いをカタチにしたヘルメットなのです。



ところで、ハーフが危ないのはわかっているんだけど、肝心のアライから、アメリカンやビンテージに似合うヘルメットを出してくれないじゃないかとの声を聞きました。



そこで登場したのがSZ α のHOGとFAZそしてTTです。正統派アメリカンライダーのためのHOG。カスタムアメリカンライダーのためのFAZ。ヨーロッパアンライダーのためのTT。個性豊かなデザインモデルです。また、単色モデルにもVマグナにもピッタリ似合うブライトシルバーを追加させていただくことにしました。



気分爽快で、しかも安心できるSZ α 。パリエーションも大きく広がっています。ぜひご覧になって下さい。あなたの安全で気分爽快なバイクライブを広げるためにも。